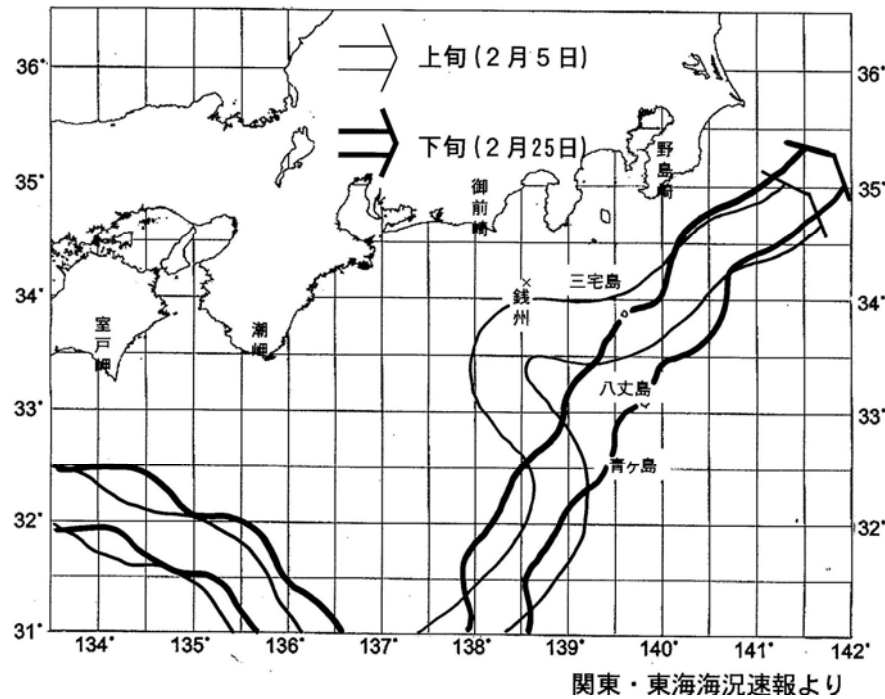


# 漁海況月報

平成31年2月1日

No.2 ~2月28日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



2月定地水温の旬平均値( ) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	14.6	15.2	14.9	16.2	14.7	14.8
	0.7	0.8	1.1	1.8	0.6	1.2
中旬	14.4	15.2	15.0	15.9	15.0	14.6
	0.5	1.0	1.4	1.7	1.0	1.2
下旬	14.9	15.3	15.0	15.8	15.0	14.6
	1.3	1.3	1.3	1.5	1.3	1.2
月	14.6	15.2	15.0	16.0	14.9	14.7
	0.8	1.0	1.3	1.7	1.0	1.2

\*地頭方の水温観測は終了しました。

## [黒潮流路]

2月を通じてA型で、上旬は潮岬沖31.5°Nから南東に進み、30.5°N、137°E付近から138-139°E付近をS字状に北上し、三宅島の南から北東に流去した。中旬は潮岬沖31°Nから南東に進み、30.5°N、137°E付近から伊豆諸島の西を北北東に進み、三宅島の南から北東に流去した。下旬は潮岬沖31.5°Nから南東に進み、30.5°N、137.5°E付近から北北東に進み、八丈島の北から北東に流去した。上中旬には、八丈島西の黒潮屈曲部から、熊野灘に向かう内側反流が形成された。

## [県下沿岸域]

2月は上中下旬とも、伊東、稲取、下田、沼津、焼津「やや高め」、雲見「高め」であった。

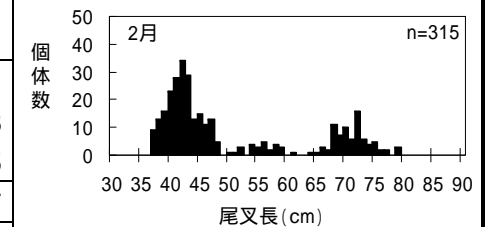
## [竿釣カツオ]

2月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚量は86トンで前年同期(59トン)の1.46倍であった。魚価は207円/kgで前年同月(279円/kg)を下回った。

漁場は23-24°N、143-144°Eの中南方海域であり、水揚げされた魚体のサイズは、極小(尾叉長42cmモード)を主体に、小(尾叉長43cmモード)、特大(尾叉長72cmモード)などであった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
31年2月上旬	-	-	-	-
中旬	32	3	10.8	278
下旬	54	2	27.1	165
31年2月計	86	5	17.3	207
30年2月計	59	4	14.7	279
29年2月計	46	4	11.4	353



## [定置網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は115.1トンで前年の同漁場の水揚量(96.3トン)の1.19倍であった。また、1か統あたりの水揚量は、16.4トンで前年(13.8トン)の1.19倍、平年(昭和57年~平成30年の平均30.9トン)の55%であった。水揚量の多い漁場は、富戸漁場(59.0トン、マイワシ・カタクチイワシ・さば類)、次いで伊豆山漁場(17.2トン、マイワシ・さば類・カタクチイワシ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)の通りで、マイワシは58.9トンで前年比2.6倍、平年比3.0倍、中~大羽主体であった。カタクチイワシは17.0トンで前年比4249.5倍、平年比29%であった。さば類は16.2トンで前年比1.3倍、平年比66%であった。漁獲されたさば類のうち、マサバは6.9トンで前年比1.0倍、平年比1.9倍、ゴマサバは9.3トンで前年比1.5倍、平年比41%であった。スルメイカは4.6トンで前年比43%、平年比18%であった。マアジは2.9トンで前年比3.9倍、平年比

18%であった。その他の魚種については、アカカマスが1.7トンで前年比20.5倍、平年比6.1倍と前年、平年を大きく上回り、2月の漁獲量としては昭和58年以降、最も多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下(表)の通りで、各漁場の漁獲量の割合はマイワシでは富戸漁場が78%(46.1トン)、伊豆山漁場が11%(6.3トン)、カタクチイワシでは富戸漁場が45%(7.7トン)、古網漁場が35%(6.0トン)、さば類では北川漁場が35%(5.6トン)、伊豆山漁場が25%(4.0トン)、川奈漁場が20%(3.3トン)、スルメイカでは北川漁場が36%(1.7トン)、富戸漁場が19%(0.8トン)、マアジでは伊豆山漁場が43%(1.3トン)、古網漁場が39%(1.1トン)を占めた。

(表) 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	58.9	2.61	3.01	富戸、伊豆山
カタクチイワシ	17.0	4249.5	0.29	富戸、古網、伊豆山
さば類	16.2	1.26	0.66	北川、伊豆山、川奈
スルメイカ	4.6	0.43	0.18	北川、富戸、伊豆山
マアジ	2.9	3.90	0.18	伊豆山、古網

**[サバたもすくい網]**

小川港所属の棒受網漁船は全船がたもすくいで操業し、上旬は利島、中旬は三本、下旬は銭洲に漁場が形成された。水揚量はマサバ679トン(前年同月比97%)、ゴマサバ114トン(前年同月比4.3倍)であり、1隻あたり水揚量はマサバ21.2トン(前年同月23.3トン)、ゴマサバ3.6トン(前年同月0.9トン)であった。1kgあたり平均単価はマサバ121円で前年同月(109円)を上回り、前月(127円)を下回った。ゴマサバは115円で前年同月(136円)を下回り、前月(118円)とほぼ同額であった。

漁獲されたマサバの体長組成は31cmにモードを持つ単峰型、ゴマサバの体長組成は32cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
31年2月上旬	309	52	3	9	34.3	5.8	136	118	利島
中旬	322	15	6	14	23.0	1.1	104	119	三本
下旬	48	47	3	9	5.3	5.3	143	110	銭洲
31年2月 計	679	114	12	32	21.2	3.6	121	115	利島、三本、銭洲
30年2月 計	698	27	10	30	23.3	0.9	109	136	三本、銭洲
29年2月 計	504	90	13	34	14.8	2.7	145	113	三本、銭洲、三宅

\*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

**[まき網(いわし類)]**

マイワシの水揚量は、伊東港では242.0トン(前年同月比1.6倍、平年同月比2.6倍)、沼津港では1,146.9トン(前年同月比1.4倍、平年同月比1.5倍)、小川港では418.4トン(前年同月比80.8%、平年同月比1.0倍)、静浦港では水揚げが無かった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港において水揚げが無かった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは58.9トン、カタクチイワシは17.0トンであった。  
\*平年：過去5か年(平成26~平成30年)平均値

**[調査船駿河丸の動向]**

2月 5日 ~ 2月 6日	地先定線観測調査	(2日間)
2月 7日	ドック回航	(1日間)
2月 7日 ~	ドック	

静岡県水産技術研究所のホームページ

3月からホームページのアドレスが変わりました。

http と://fish-exp~~~の間にsが追加され、[https:// fish-exp~~~](https://fish-exp~~~)になります。

パソコンからは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

